

大型プロジェクターと手元のディスプレイへの同時表示で、スムーズなプレゼン進行を実現

導入先: 企業のプレゼンルーム



ある企業のデザイン部門では、定期的にデザインのプレゼンを行っている。この度、プレゼン時に、より鮮明な映像を表示するため、4Kアップコンバート対応の4系統大型プロジェクターをプレゼンルームに導入することにした。しかし、プレゼン演者にとって、大型プロジェクターの画面を見ながらでは、操作しづらいことがわかったので、演台にディスプレイを置いて、手元でも映像を確認できるようにしたいと思っていた。さらに、複数あるビデオソースデバイスからのフルHD解像度の映像を随時切り替えて個別に表示したり、ビデオウォールとして表示したりすることで、より効果的なプレゼンを行いたいとも考えていた。

Challenges

- ◆ 複数あるビデオソースデバイスからのフルHD解像度の映像を4Kアップコンバート対応の大型プロジェクターに表示したい。
- ◆ フルHD解像度の映像を2×2のビデオウォールでも出力表示できること。
- ◆ プレゼンの演者が手元でプロジェクターの表示画面を確認できること。

Solution

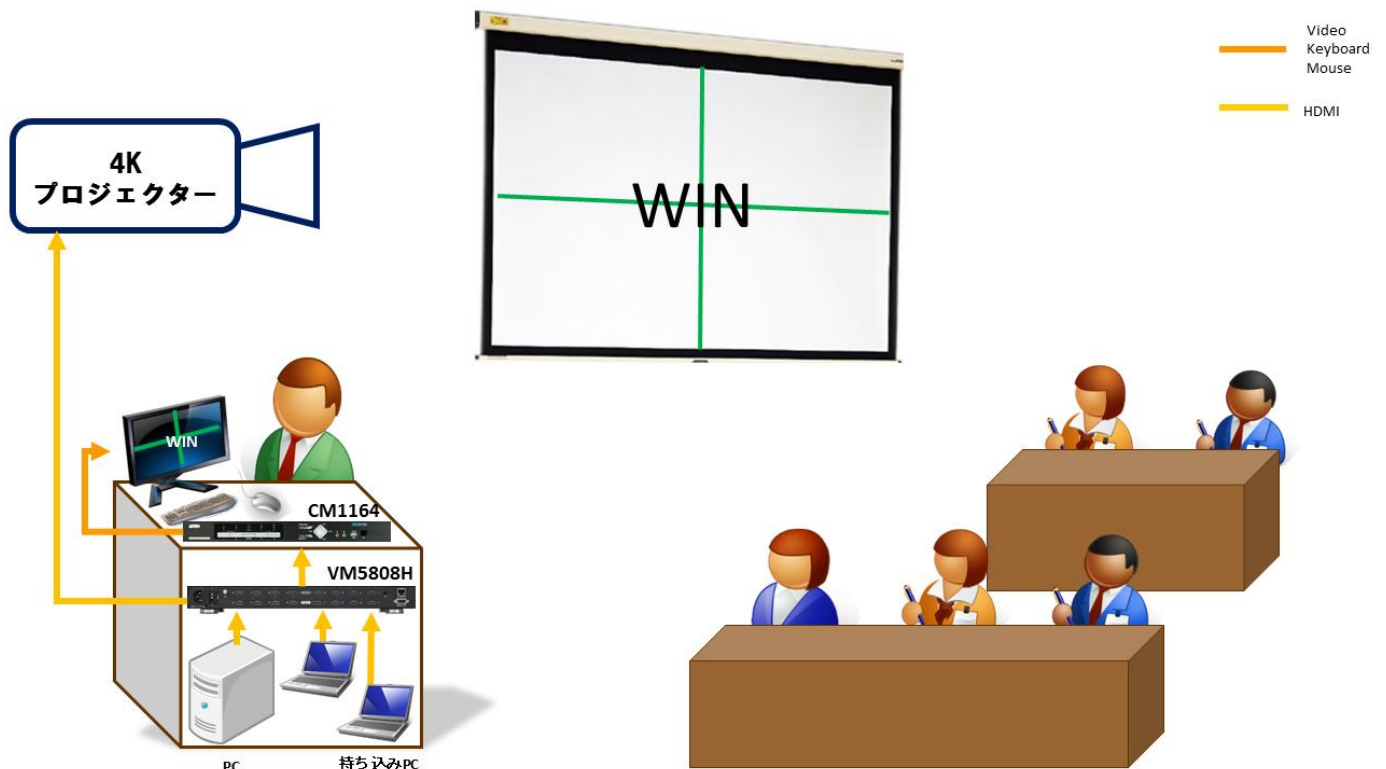
ATEN トータルビデオソリューションによるビデオウォール表示と画面分割表示で快適操作



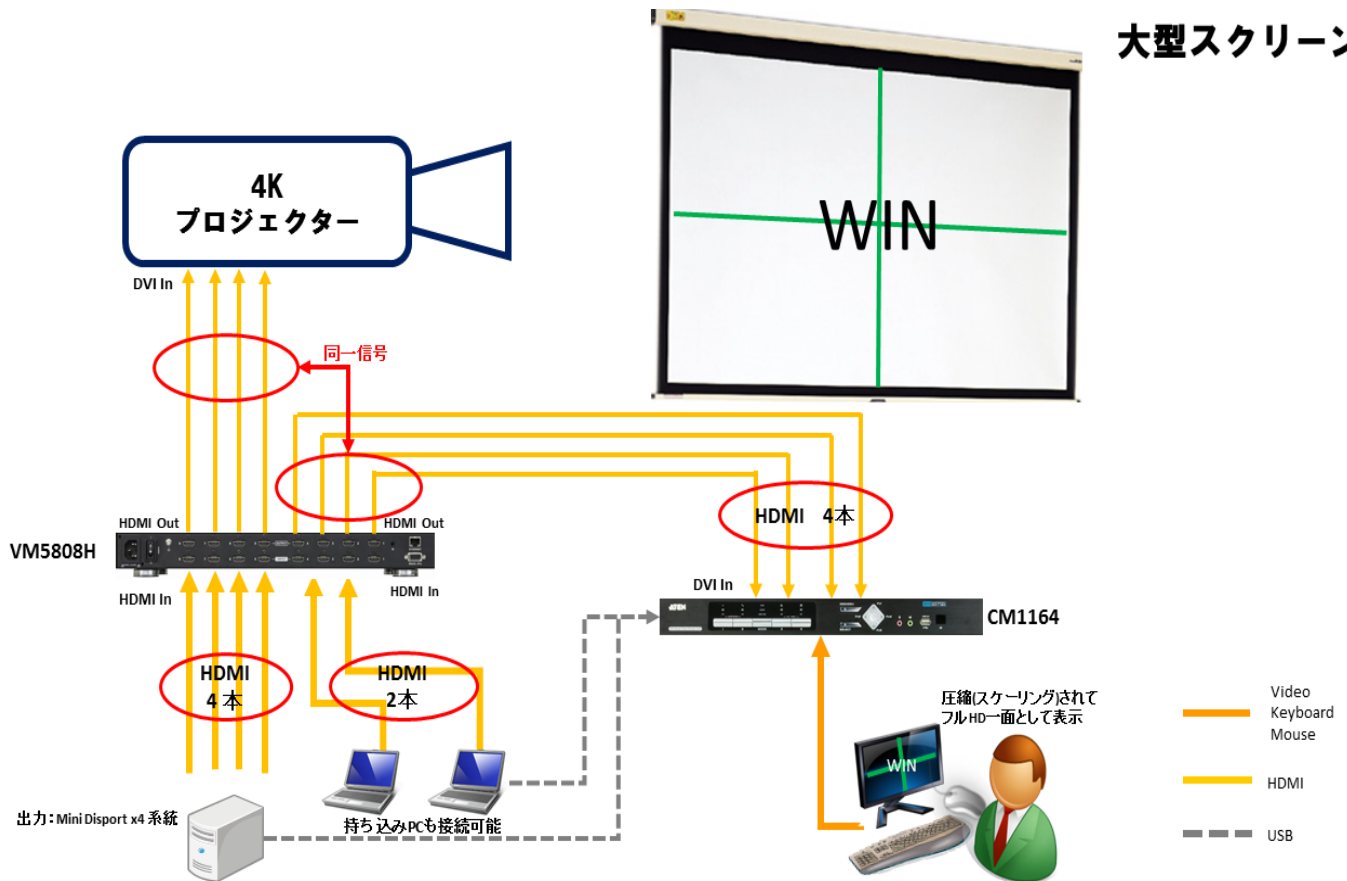
CM1164
 USB2.0 ハブ搭載
 4ポート DVI モニター分割切替器



VM5808H
 8入力8出力
 HDMI マトリックススイッチャー
 (ビデオウォール対応)



大型スクリーン



Benefits

- **8 系統の HDMI 信号を 8 系統にマトリックス状に分配切替** – VM5808H は最大解像度 1080p 対応。プレゼンテーションに合わせて、自在に映像の切替や表示が可能。
- **ビデオウォール対応** – VM5808H は最大 8 系統のフル HD 映像をビデオウォールとして表示可能。ビデオウォールはわかりやすい Web GUI を使用するので、簡単に構築可能。さらに最大 16 通りのプロファイル（表示パターン）も設定できるので、スムーズな再生が可能。
- **最大 4 台のサーバー画面を 1 台の DVI モニターに分割表示** – CM1164 はフルスクリーンモード、クワッドビューモード、ピクチャ・イン・ピクチャモード（デュアル/トリプル/クワッドに分割）と各種ディスプレイモードに対応。この機能とビデオマトリックススイッチャーを併用することで、プロジェクターの画面を見なくても、手元で操作確認が可能。
- **ソフトウェア不要の簡単セットアップ** – ソフトウェアを無償で同梱。ケーブルを接続するだけで使用できるコストを抑えたハードウェアソリューション。

Features



CM1164 USB2.0 ハブ搭載 4ポート DVI モニター分割切替器

- 4ポートDVIモニター分割切替器 - コンソール画面を分割し、最大4台のコンピューターの出力を同時に表示。切り替えて選択したコンピューターはキーボード・マウスで操作可能
- 各種ディスプレイモードに対応 - フルスクリーンモード、クワッドビューモード、ピクチャ・イン・ピクチャモード(またはピクチャ・バイ・ピクチャモード。デュアル/トリプル/クワッドに分割)
- OSDメニューから機能操作可能 - ディスプレイモード、ポート選択、デージーチェーン接続等
- ハードウェアカーソル - コンソールのマウスを使ったOSD操作
- チャンネルエディター機能 - ディスプレイモードでのコンピューターの表示位置や大きさをマウスで簡単に変更
- 解像度 - 1,920x1,200

フロント側



リア側



VM5808H 8 入力 8 出力 HDMI シームレススイッチャー(ビデオウォール対応)

- 8系統のHDMI信号を4系統にマトリックス分配切替
- シームレス切替機能 - 途切れることのないビデオストリーミング、リアルタイム切替、安定した信号伝送を提供
- HDMI (3D、Deep Color) および HDCP 1.2 準拠
- 高パフォーマンスのスケイラー機能により高画質を提供
- 解像度 - HDTV解像度480p、720p、1080i、1080p (1,920x1,080)
- ローカル側での操作 - フロントパネルのLCDディスプレイ、プッシュボタン、IRリモコン
- リモート側での操作 - ブラウザベースのGUI、シリアルコントローラー、Telnet
- ビデオウォール対応 - わかりやすいWeb GUIを使用して、16通りの表示レイアウトを設定可能

フロント側



リア側

